



多くの来場者で賑わいました



植樹祭当日の様子



華麗な魚さばきに見入る参加者



下敷きを贈呈する市原地区長(右)

11/23-25 きんぎょのまち=ながすをPR!
第5回九州大金魚博覧会

福岡県みやま市で開催された「第5回九州大金魚博覧会」に参加し、町のPRを行いました。

これは、有明圏域定住自立圏でつながるみやま市と、金魚を通じて交流を深めようと5年前から行っているものです。

この日は、町から金魚グッズや、長洲産のミニトマトを使った「NAGASU-BURGER」などの販売や観光PRを行い、大盛況のうちに終了しました。

11/23 B&G 海を守る植樹教育事業
～長洲町植樹祭～を開催

町 B&G 海洋センターで、B&G 海を守る植樹教育事業～長洲町植樹祭～を行いました。

これは、海の環境を守る森の育成や海岸防災林などの役割とその意義を学ぶために、B&G 財団が全国各地で行っているものです。

植樹祭には家族連れを中心に約60人が参加し、町の木であるクロガネモチや町の潜在自然植生(本来その土地に生息する木)であるタブノキ、アラカシ、スダジイなど13種類100本を植樹しました。

11/16 **ながすクッキング**
魚のさばき方教室を開催

11月のながすクッキングでは、県海水産殖漁業協同組合から講師を招いて、魚のさばき方教室を行いました。

今年で3回目となるこの教室は、ブリとタイのさばき方の見本を見た後、2人で1尾のタイをさばきました。また本年度は、お寿司握り体験も行き、参加者からは「本当に参加してよかった。とても勉強になった」などの声が上がりました。

10/30 **租税教育に活用してほしい**
(公社)玉名法人会長洲地区が下敷きを贈呈

公益社団法人玉名法人会長洲地区(市原一廣地区長)は、町内各中学校へ租税教育用の下敷きを贈呈しました。

これは、税を考える週間の中で、租税教育の充実と地域貢献の一環として全国の各法人会が昭和55年から取り組んでいるものです。

この日は、市原地区長と同会役員の大崎正志さん(公社)玉名法人会高森事務局長が訪れ、税について分かりやすく説明された下敷きを戸越教育長に手渡しました。

なお、贈呈された下敷きは町内中学校の3年生に配布されました。



班別に避難状況の確認を行いました



収穫した野菜をみんなで調理



長洲海岸地先の現状を視察する様子

11/25 **有明海を震源とする津波の発生を想定**
下東区で防災訓練を実施

下東区(園田一久区長)は、有明海を震源とする地震・津波の発生を想定しての防災訓練を行いました。

これは、区民の防災意識の向上を目的としたもので、ことしで3年目の取り組み。区民89人(70世帯)が長洲小学校へ避難しました。また、避難後には防災講話や意見交換会を行い、地震発生時の対応を確認しました。

園田区長は「ことしで3年目ということもあり、新たな反省点も出てきました。来年以降は、関係団体との支援体制の強化を課題としていきたいです」と話しました。

11/24 **秋の味覚を使った料理作り**
畑の学校～収穫祭～

ながす地域活動(増岡美知子会長)は、地域福祉センターで「畑の学校収穫祭」を開催しました。

この取り組みは、収穫や栽培を通して食の大切さを知ってもらおうと耕作放棄地を活用して毎年開催されています。

この日は24人が参加し、いきなり団子、野菜のかき揚げやてんぷらなどたくさんの料理を作りました。

参加した子どもたちは「楽しかった。自分で作るとおいしい」と話しました。

11/20 **水産振興の活性化を目指して**
宇佐市(大分県)と水産振興に関する包括連携協定事業

町は、水産振興に関する包括連携協定を締結している宇佐市(大分県)と意見交換会を開催しました。

この日は、関係者が一堂に会し、干潟の状況の改善やあさり資源の回復について活発な意見交換が行われました。また、福岡大学工学部渡辺教授から産官学連携事業による長洲海岸地先での干潟浄化研究についての説明があり、あさりの資源量が回復していると報告がありました。

意見交換会後は、長洲海岸地先で干潟の状況を確認するため現地視察も実施しました。

11/19 **ボランティアで樹木を伐採**
服部幸人さんに感謝状贈呈

服部幸人さん(鷲巣区)が、ボランティアで腹栄中学校の樹木を伐採されたことに対して、町から感謝状を贈呈しました。

これは、同校の卒業生でもある服部さんが、生徒たちが十分に運動できるようにとの思いから行われたもので、グラウンドにそびえ立っていた推定樹齢60年ほどのイチヨウを伐採されました。

服部さんは、「仕事柄、伐採するときは涙が出る思いでしたが、伐採後に早速、広くなったグラウンドを元気いっぱい走り回っている生徒たちの姿を見てうれしく思います」と話しました。



人形を寄贈した北野さん(左)

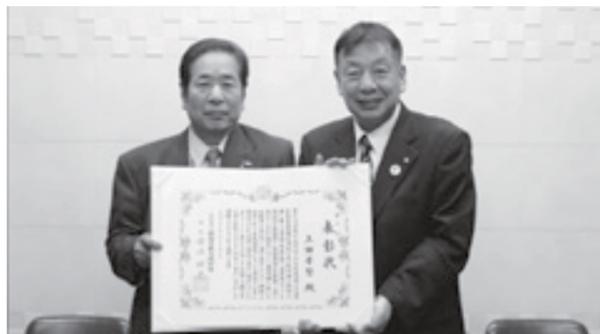
12/4 北野さんが町へ寄贈

北野孝子さん(下東区)は、金魚のふれ売り師をモチーフにした招き猫の人形を町へ寄贈しました。

この人形は、昨年9月に愛知県瀬戸市で開催された日本最大の招き猫展「にっぽんの招き猫100人展」で入選した作品で、平成29年に引き続き2年連続で入選されました。

北野さんは「これからも楽しく、見る人がにっこりするような人形を作りたいです」と笑顔で話されました。

寄贈された人形は、3月から金魚の館で展示されます。



中逸町長に受賞を報告する上田さん(左)

12/3 人命救助の功績をたたえて 上田芳賢さんが表彰状を受賞

上田芳賢さん(新山区)は、町役場を訪れ、公益財団法人社会貢献支援財団(安倍昭恵会長)が主催する第51回社会貢献者表彰を受賞したことを報告しました。

これは、同財団が緊急時の人命救助や社会福祉の増進、青少年の育成などへの功労に対し贈呈しているものです。上田さんは、平成29年8月20日に、遮断機が下りた踏切内で男性が倒れていたのを発見し、危険を顧みず救助した功績がたたえられ今回の受賞となりました。



作った海苔は乾燥させて、記念に持ち帰りました

12/20 地元の水産業をPR 六栄小で海苔手すき体験教室を開催

長洲・牛水地域干潟保全会(上田浩次代表)は、六栄小学校で海苔手すき体験教室を開催しました。

これは、昔行われていた海苔手すきを児童たちに体験してもらい、地元産業である海苔養殖業に興味を持ってもらおうと毎年行っているものです。

この日は、4年生29人を対象に海苔養殖について説明し、その後海苔手すき体験が行われました。

参加した児童からは、「初めは難しかったけど、教えてもらって上手にできました」などの感想があがりました。



池田防府市長(右から3人目)と江山教育長(右から4人目)へ寄贈

11/30 ながす金魚を寄贈! 山口県防府市との新たな連携事業

町と熊本ものづくり塾(原嶋友子塾長)は、山口県防府市へ「ながす金魚」を寄贈しました。防府市とは「ものづくりフェア in 山口」や「山口ゆめ花博」に参加するなど、ものづくりを通じて交流を深めています。

そのような中、新たな連携事業として防府市での町のPRをはじめ、子どもたちへの環境学習や情操教育の一環として「ながす金魚」を活用したいとの要望を受けて贈られたものです。

寄贈した「ながす金魚」は、防府市内の小中学校(9校)で大切に育てられます。



力強くスタートする1区の選手たち

12/2 第53回長洲町駅伝大会 チームの想いをタスキに込めて

町総合スポーツセンターをスタート・ゴールに、第53回長洲町駅伝大会を開催しました。

チャンピオンシップ部門に15チーム、フレンドシップ部門に8チームが参加しました。

小学生から一般の人まで、日ごろの練習の成果を発揮し、力強い走りチームのタスキをつなぎました。結果は以下のとおりです。

- ◆チャンピオンシップ部門
- 町内対抗の部 優勝 腹赤B
- 職場・グループの部 優勝 長洲JRC
- ◆フレンドシップ部門 優勝 長洲剣友会
- ◆フレンドシップ賞 建浜子ども会



利用者に振る舞う抹茶をたてる茶道教室のメンバー

11/29-12/19 利用者に喜んでもらいたい 鷺巣区が呈茶会を開催

鷺巣区(城戸邦晴区長)は、介護老人保健施設聖ルカ苑を訪れ、呈茶会を行いました。

これは、同区で毎月行っている茶道教室の生徒と先生約10人が、入所や通所している利用者に抹茶を楽しんでもらいたいと4年前から行っている取り組みです。本年度は、3回に分けて実施し、延べ110人の利用者に抹茶を振る舞いました。

城戸区長は「4年前から取り組んできて、すっかりお馴染みとなりました。利用者の皆さんに楽しんでいただいているので、今後も引き続き行っていきます」と話しました。



学校の花壇やプランターをたくさんの花で彩りました

12/1 長洲小校区 花いっぱい運動 地域のみなさんとの交流の場

長洲小学校子ども育成協議会(北野誠司会長)は、長洲小学校で花いっぱい運動を実施しました。

この活動は、子どもたちの健全育成や学校、家庭および地域が連携して行う大切な活動として取り組んでいます。

この日は、児童と保護者、地域の人たち約350人が参加し、花の苗約800株を学校の花壇やプランターに移植しました。

参加した人には、花の苗をプレゼントし、プランターの一部は、長洲小校区の各行政区に配布しました。